

稲葉健二の ひと言メッセージ



稲葉健二後援会
市川市八幡2-2-10
TEL333-1783
FAX334-1990

稲葉健二は、
皆様のご意見・ご要望を
お待ちしております。
お気軽にご連絡ください。

内部討議資料

皆さん、こんにちは。市川市議会議員の稲葉健二です。

久しぶりに、大変寒い冬ですね。風邪が流行しているようですが、ぜひとも手洗い、うがいなどを実行して、元気に冬を乗り切りましょう。

さて、12月に開会されました定例会におきまして、一般質問をさせていただきました。関係者の方たちから、真摯にご答弁をいただき、より良い市川に向かって、行政と協力し努力する決意を新たにいたしました。

○子どもの居場所づくりと子育て支援について

昨今、子どもを対象にした痛ましい事件にはとても心が痛み、私たち大人が子どもを守り、安全に成長してゆく環境を整える努力をするべきだと考えます。私の地元、JRより北部の八幡、菅野、東菅野といった地域の中では、学校施設を活用し、放課後の子どもたちの居場所をつくり、地域の人々とふれあい、異年齢間の交流による豊かな遊びをとおして、子どもたちの創造性豊かな心、共感する心を養い、子どもたちの健全育成を図ることを目的としたビーイングが八幡小学校に開設されています。開設以来、利用する児童の数も増え、好評ですので、より一層発展するよう努力していきたいと考えております。

次に、厚生労働省の「つどいの広場」事業ですが、主に乳幼児（0～3才）をもつ子育て中の親が気軽に集い、うち解けた雰囲気の中で語り合うことで、精神的な安心感をもたらし、問題解決への糸口となる機会を提供する必要があることから、その機能を有するこの事業はとても重要に思われます。以前、質問した折、運営方法、運営内容の検討、また場所として葛飾八幡宮の中の分庁舎の市政情報センター

（旧子ども図書館）を提案させていただいていたのですが、現在、この「つどいの広場」事業を提案通りの葛飾八幡宮内の分庁舎の市政情報センター（旧子ども図書館）と新井青少年館に18年度中に設置を目指しているそうです。



○自転車対策について

以前にも質問をさせていただきましたが、福岡市で実施され、効果が認められている放置自転車対策に、民間の協力を得ての自転車協力員制度があります。この制度を市川でも導入できたらと考えています。

放置自転車に関心を持たれ活動している団体にこの制度をご理解いただき、実施可能な団体、地域について試行的にこの協力員制度の導入を検討して、モデルケースとして効果などを検討して本格的に制度化していく、そんな方向で考えています。

また、歩道のスペースに一時駐輪場ができれば、との考えにつきましては道路法施行例が改正されていて、まもなくそれに基づいた駐輪場設置のガイドラインが制定されますので、その制定を待って関係各位と相談しながら検討していく方向でいます。

また、駐輪場の土・日・祝日の利用状況ですが、昨年11月より、主要駅周辺の駐輪場においては、土・日・祝日にも整理員を配置、また街頭指導員も配置し、商店が集中している地域での買い物客、一時駐輪者などの放置自転車を減らす努力をしています。



稲葉健二のホームページができました。

<http://www.inaba-kenji.jp> です。ぜひご覧下さい。

○市川市文化会館の改善工事について

以前よりお願いしていましたトイレの改修工事が去年の夏に実施され「おもいやりトイレ」という名称で利用者の方々から多数のお礼をいただきました。ただ、まだまだ不満があります。老若男女を問わず、すべての人がよりよい生活ができるような街づくりを考えて行く中で、現在の文化会館はより改善が必要です。社会的弱者の方、特に車椅子をご利用されている方が、観客席の良い場所に移動したり、舞台と観客席を行き来することは、人の手を借りないと無理な状況です。バリアフリーの観点からは、使いやすい施設とは決して言えません。エレベーターの設置を具体的に考え、推進していく。それまでの間、舞台から客席への移動手段としてスロープの設置など、できることから着手していくことを検討しています。

○市民会館の改善工事と利用状況について

以前から質問している市民会館の駐車場のプレハブ庁舎、行政でも必要だから建てたのはわかるのですが、機材の搬入の不便さや、利用者数に比べて駐車台数の少なさを考えると撤去しなければならないと思います。数年後を目指しての撤去というお答えをいただきました。これを機会に市民の方の利用を最優先、貴重な文化の活動拠点として市民の皆様が大いに利用していただければと思っています。